

(公社) いわき青年会議所 専務理事 意見書

専務理事 草野 雄一

1 我々はこれまで、公益法人への移行などの時代の変化に対応しながらも、適正な法人運
2 営を行なうことで、明るく豊かな社会の実現に向けた活動を継続して行なってきました。
3 しかしながら、近年では会員の平均在籍年数が短期化傾向にあり、経験不足に伴った組織
4 力の低下が懸念されます。今後もよりよい社会の実現に向けた活動を継続して行なってい
5 くためには、適正な法人運営を安定的に行なっている組織にしていかなければなりません。
6 まずは、福島ブロック協議会の会長をはじめ多くのメンバーが出向するにあたり、いわ
7 きを代表して出向していることを誇りに思い、自信をもって出向活動を行なっていけるよ
8 う、全力で支援を行なってまいります。そして、いわき J C の活動を継続して行なってい
9 くために、組織の運営に必要な知識の習得に努めることで公益法人としての在り方や規則
10 などを十分に理解し、業務執行理事として公益法人格の維持・継続と財務体制の管理、コ
11ンプライアンスの取り決めに強化してまいります。さらに、会の基盤となる公益性や透明
12性のある財務運営を行なっていくために、事業計画から実施、報告に至るまでを見届け適
13切な事業運営がなされているかを確認し適切な予算の執行や事業検証がなされているかを
14見定めることで諸会議の円滑な運営に努めてまいります。また、会の組織力を高めるため
15に、行政や日本 J C をはじめとする関係諸団体と連携を図り、会員が学びや気付き、人脈
16を広げていける環境を提供していきます。そして、日々の活動の効率化を図るために、各
17委員会や出向者との連携を図り、会員同士が信頼し協力し合える環境を構築していきます。
18 いわき市の発展に向けた活動を支えている法人の運営面が強化され、各委員会のメンバ
19ーや出向者が安心して J C 活動できる環境が整うことで、会員の個性や能力がいかに
20発揮された活動につながり、可能性が広がる J C 運動と夢溢れる故郷の創造が実現します。